

教科	農業	科目	農業と情報	単位数	1 単位	学年	2 年	コース	F
使用教科書	農業と情報 実教出版			使用副教材等	ビジネス文書実務検定模擬試験問題集(実教出版) 情報処理技能検定試験・表計算 模擬問題集(日本情報処理検定協会)				

目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業に関する情報を主体的に活用するために必要な資質・能力を育成することを目指す。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	農業に関する情報について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	農業情報の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。
評価方法	・定期試験 ・演習課題の達成状況(指示通りの作業ができていないか)	・定期試験 ・演習課題の達成状況(アプリケーションソフトウェア利用の工夫)	・授業・演習での取り組みの様子 【主体性】積極的に取り組んでいるか 【協働性】協力して共に学び合う姿勢が見られるか

担当者からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集中して授業に取り組み、情報化社会で生きる社会人として必要な知識とモラルを身に付け、日常生活に活かしてください。</li> <li>・演習中心の授業になります。自ら学ぶ姿勢(自主性)、協力してお互い高め合う姿勢(協働性)を意識して取り組んでください。</li> </ul>
-------------	--

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4	○授業オリエンテーション ・授業の進め方やパソコン教室での諸注意、評価の仕方などを学ぶ	(知):知識・技術 (思):思考・判断・表現 (態):主体的に学習に取り組む態度
		○生活と農業の情報化 ・生活の中で情報を活用したさまざまな技術が生かされていることを理解する。 ・情報化社会におけるモラルとセキュリティの重要性を理解する	・データと情報、意思決定の過程と情報社会の発展について理解している(知) ・メディアリテラシーを身に付ける必要性を理解している(思) ・情報化社会の光と影について考えるとともに、SNSの使い方や、個人情報の取り扱い、知的財産権の保護、モラルについて考えることができる(思) ・農業の情報化の発展とデータ収集の大切さについて理解している(態)
	5 ~ 7	○インターネットの利用 ・インターネットによる情報検索の方法を理解する ○日本語ワードプロセッサの利用 ・日本語ワードプロセッサの特徴と機能を理解する ・日本語ワードプロセッサの利用方法を身に付ける ・実際の情報処理の過程を理解するとともに、問題解決の過程やアイデアや気づきを引き出す思考技術を理解する	・ハードウェアとソフトウェアの概要について理解している(知) ・データや情報の種類とその表現方法について理解している(知) ・日本語ワードプロセッサの基本的な4機能(入力・記憶・編集・印刷)について理解している(知) ・日本語ワードプロセッサを利用して文書を作成できる(知) ・演習課題に最後まで粘り強く取り組むことができる(態)
		8 ~ 12	○表計算ソフトウェアの利用 ・表計算ソフトウェアの特徴と機能を理解する ・表計算ソフトウェアの基本的な利用方法を身に付ける ・データを収集し可視化する技術を身に付ける
3	1 ~ 3	○表計算ソフトウェアの応用 ・表計算ソフトウェアでのグラフ作成や関数について理解する ○情報発信 ・アプリケーションソフトウェアの演習を通して、実際の情報処理の過程を理解するとともに、自分で活用する技術を身に付ける	・表計算ソフトウェアを利用して、複合グラフの作成や関数を用いたデータの並べ替えができる(知) ・再計算機能を利用してシミュレーションを行うことができる(知)(思) ・基本的なHTMLのタグを理解し、簡単なWebページの作成ができる(知)(思) ・問題解決と情報利用の方法、アイデアなどを引き出す思考技術について理解している(態)